

大仙・美郷支部 住宅デー

By 包丁研ぎ編



10月21日、第14回大仙市「秋の稔りフェア」が開催され、会場の大曲ヒカリオイベント広場内で行われた協賛イベントに大仙・美郷支部が参加しました。「大仙・美郷支部住宅デー」として恒例の「包丁研ぎ」をメインに行い、開会前からたくさんの方が普段使用している包丁を1本、2本と持参して受付を済ませていました。（1本は無料、2本目からは1本につき300円）

中には「今年もお願いします」と、毎年訪れるなじみの人もたくさんいて、組合のアピールに一役買っていました。



10時開会。9時過ぎには準備が整いました

当日はこの会場周辺に「花火通り商店街」の軽トラ市など7会場があり大勢の人でごった返していました。



大仙・美郷支部の、のぼり旗を見つけて次々にお客さんも訪れていました。



受付裏の研ぎ班も、各自準備を整えていました。



毎年訪れる人は受付も慣れていて、余裕？を持って2本、3本と受付の人に包丁を手渡ししていました。



開会直前。大曲ヒカリオイベント広場には、大勢の人が繰り出していました。



7人の侍ならぬ「7人の研ぎ士」です。受付された包丁を誠心誠意、一心不乱に研いでいました。それぞれの研ぎ士にこだわりもあるようでした。



大曲ヒカリオイイベント広場ステージでは様々なショーが行われていました。

写真は大曲高等学校書道部「書道パフォーマンス」です。



こちらは大曲農業高等学校太田分校郷土芸能部の「郷土芸能」です。民謡、手踊り、ささら踊りなど盛りだくさんでした。



秋田のローカルアイドルグループ「まちあわせハチ公ガールズ」のミニコンサートも行われていました。



仙北地域餅つき名人による「餅つきイベント」つきたての餅はとても美味しかったです。



12時受付終了ですが、受付する人と受け取りに来た人で混雑していました。



「7人の研ぎ士」出来栄えこだわっていました。



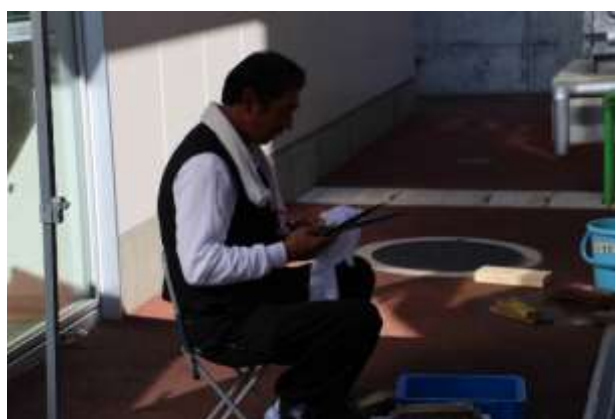
こちらもこだわっています。



微調整は親指の添え方と熟練の感？



指先で確認？



納得した出来上がりはウエスできれいに。



とことんこだわります。納得いく1本を仕上げるまでは。



人造ダイヤモンド砥石。砥石にもこだわりがありました。



仕上がった包丁は新聞紙に包み、厳重に保管していました。「依頼した人が引き取りに来るまで一時も目を離せません。事件が起きた多大変です」と話す手に持った目隠しに使っているバスタオルがなぜか「矢沢永吉 E・YAZAWA」でした。



研ぎ士の皆さんご苦労様でした。受付分すべてを研ぎ終えて、遅い昼食に出かけました。

最後に参加された皆さんです。



大変お疲れ様でした。